海老名総合病院 総合診療科
医師募集案内

JMA Group Doctors Recruitment
https://job.jinai.jp/doctor/

JMA GROUP
〒243-0433　神奈川県海老名市河原口1519
JMAグループ　経営企画本部　医師人事課
TEL：046-235-1328　Mail：jinzai@jin-ai.or.jp

病院概要

名称	海老名総合病院
法人名	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
病院URL	http://ebina.jinai.jp/
開設	昭和58年9月
所在地	神奈川県海老名市河原口1320
区分	地域医療支援病院
救急指定	三次救急
診療科目	総合診療科、血液内科、外科、眼科、小児科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、腎臓内科、呼吸器内科、呼吸器外科、麻酔科、放射線科、IVR科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科、病理診断科、救急科
センター	心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科） 糖尿病センター 内視鏡センター（消化器内科） マタニティセンター（産科・婦人科） 救命救急センター

病床数	479床
手術室	10室 ※内日帰り手術室2室
救急件数	**8,368件（2017年度）**
手術件数	**5,253件（2017年度）**
指定・認定等	保険医療機関 労災保険指定医療機関 地域医療支援病院 臨床研修指定病院 救命救急センター 救急告示病院 神奈川県災害協力病院 神奈川DMAT-L指定病院 日本医療機能評価機構認定病院 DPC対象病院 開放型病院認定施設

各科認定施設等

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本口腔外科学会認定施設
日本消化器病学会認定施設
日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本病理学会研修認定施設B
日本腎臓学会専門医制度研修施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
日本内科学会認定医制度教育病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
日本肥満学会認定肥満症専門病院
日本小児科学会小児科専門医制度研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本麻酔科学会麻酔指導病院（麻酔科認定病院）
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設（拠点教育施設）
日本血液学会認定血液研修施設
日本有病者歯科医療学会研修施設
日本栄養療法推進協議会認定ＮＳＴ稼動施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設
日本産科婦人科学会専門医制度・専攻医指導施設
日本静脈経腸栄養学会ＮＳＴ稼動施設認定
日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
臨床修練指定病院（外国医師又は外国歯科医師が行う臨床修練）
日本透析医学会透析専門医制度認定施設
日本腎臓学会研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本臨床細胞学会教育研修認定施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
（日本呼吸器学会）特定地域関連施設認定証
日本乳癌学会関連施設

施設基準

一般病棟入院基本料（7対1）
臨床研修病院入院診療加算【基幹型臨床研修病院】
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算1
20対1医師事務作業補助体制加算1
25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）
看護職員夜間16対1配置加算
地域加算【5級地】
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算2
医療安全対策加算1
感染防止対策加算1
感染防止対策地域連携加算
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
総合評価加算
病棟薬剤業務実施加算1
データ提出加算２イ（200床以上の病院）
退院支援加算1
退院支援加算 地域連携診療計画加算
救命救急入院料 1
特定集中治療室管理料3
ハイケアユニット入院医療管理料1
小児入院医療管理料４
地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算
地域歯科診療支援病院入院加算

医療機器

多目的血管撮影装置（GE）「Innova3100」
循環器系X線診断装置（心臓カテーテル検査装置）
心臓用血管撮影装置（フィリップス）
「Allura Xper FD10/10」
CT（コンピュータ断層撮影装置）
16列マルチディテクターCT（東芝）
「Aquilion16」
80列マルチスライスCT（東芝）
「Aquilion PRIME」
MRI（超伝導磁気共鳴診断装置）
1.5テスラMRI（フィリップス）
「Intera Achieva 1.5T Nova Dual」
1.5テスラMRI（フィリップス）
「Ingenia」
乳房撮影装置（マンモグラフィ）
（GEヘルスケア）
「Senographe DS La Verite」
※デジタルマンモグラフィ検診施設B認定機関
脳神経外科手術用ナビゲーションユニット
ニューロナビゲーションシステム（メドトロニック）
「StealthStation® S7®」
他に、内視鏡、X線TV、骨密度測定装置 など

診療科

診療科の特徴

当科は平成22年に海老名総合病院に開設されました。
急速に進む高齢化社会において、一つの臓器のみでなく、複数の臓器に疾患を持っている患者さんが増えています。
総合診療科では、臓器にとらわれない、さらには患者さんの疾病のみならず、心理社会的背景も考慮した、全人的医療を実践することを心がけています。
また同時に、判断がつかない患者さん、受診科を特定できない患者さんの診療もおこないます。
院内の他専門科との関係は良好であり、必要があれば専門医と連携して、または専門医に引き継ぐことで、患者さんに必要な医療を提供します。
なお、当科は救急科とのつながりが強く、救急科からの速やかな引継ぎを心がけるとともに、重症患者においてはICU管理もおこなっています。

診療科情報

医師数	常勤 4名
出身大学	名古屋大学、埼玉医科大学、筑波大学、島根大学
主な対象疾患、症状	めまい、頭痛などの、いわゆるcommon disease 複数臓器に問題がある症例　不明熱など、診断がつかない症例 心肺停止、重症敗血症、呼吸不全などの集中治療　各種感染症症例

2017年実績

神経系疾患	56件
循環器系疾患	56件
呼吸器系疾患	342件
消化器系疾患	78件
腎・尿路系疾患	69件
内分泌・代謝疾患	38件
血液疾患	14件
皮膚疾患	38件
整形外科疾患	3件
その他	136件
合計	830件

勤務条件

勤務時間	[平日]08:30〜17:30 [土曜日]08:30〜12:30 週4.5日以上（週4.0日相談可）
外来診療	1〜2コマ/週
受診者数	5〜10名程度/コマ
病棟管理数	10〜15床程度
研究日	応相談
休日	土曜午後、日曜、祝祭日、慶弔休暇、等
休暇	年次有給休暇（入職日に3日、以降労働基準法に準拠）、 年末年始（12/30〜1/3）、リフレッシュ休暇（3日間）
当直有無	あり
当直体制	1名
オンコール	なし

勤務例）

	月	火	水	木	金	土	日
AM	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	
PM	病棟	外来	研究日	病棟	外来		

給与・福利厚生

給与	当院規定による
卒年別給与例	10年目：1,150万円〜
諸手当	当直手当、時間外手当
住宅・寮	住宅手当あり（条件あり）
昇給	あり
賞与	なし
退職金	あり（条件あり）
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
学会活動	学会費用支給あり（上限10万円/年）
福利厚生	医療費援助制度、福利厚生倶楽部 （提携リゾート施設の優遇等）、 院内保育園、各種同好会等
その他	医局費として月3千円徴収

協力連携病院

座間総合病院

他科との関係性の変化を肌で感じています

海老名総合病院　総合診療科
医長　日比野 壮行

総合診療科の魅力は、「広く、浅く」ではなく、「広く、なるべく深く」知識を身につけることができるところです。専門科と比べると対応範囲が広く、何でも診るのが私たちの役割です。以前に比べて、他科から相談を受ける機会が増えていて、良好な関係を築けていることがとても楽しいです。

総合診療科のチームワークもとてもいいです。20代、30代、40代の男女が集まっていますから、ジェネレーションギャップはありますけどね。40代のオヤジギャグにも場が凍り付かない優しさがあります（笑）。私は、夜間は救命救急センターの一員として当直しているので、救命救急センターのスタッフとも仲良しです。オフになると一緒に飲みに行くこともありますよ。

もう少し医師の人数が増えたら、お互いレベルアップをする機会を持ちたいですね。今は患者さんを診ることで学ばせてもらっていますが、勉強会や学会活動の機会をもう少し増やしていきたいと思っています。

総合診療科は、良くも悪くもまだ完成形ではなく、伸びしろがあります。それに私が入職した頃と比べても、病院全体でも、他科の先生方からも認めてもらえているのを実感します。その分、期待もされているので、きっとやりがいは大きいと思いますよ。

ぜひ私たちの仲間になって、先生の得意分野を生かすような働きをしていただきたいですね。もちろん、苦手な分野はみんなでサポートします。